

## 試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：加工・業務用キャベツの適品種の選定と栽培法の確立			
[要約] 加工・業務用キャベツには、寒玉系品種が適し、収穫時期によって「新藍」、「冬藍」、「彩音」、「TCA-400」、「冬のぼり」の夏播き栽培、「寒玉6号」、「さつき女王」、「YR天空」の秋、春播き栽培を行う。株間は35cmとすることで多収となる。			
キーワード キャベツ、加工、業務、寒玉系、品種			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・北総園芸研究所・東総野菜研究室 協力機関 JA全農ちば、JAちばみどり、海匠農林振興センター		
実施期間	2007年度～2008年度		

### [目的及び背景]

近年、野菜の業務用需要が増え、キャベツではカット加工品や加熱加工品に適する寒玉系の需要が高い。そこで、加工・業務用に適する寒玉系キャベツの秋冬どり栽培及び春どり栽培技術を確立するために、適品種、栽培法を明らかにする。

### [成果内容]

- 1 加工・業務用のキャベツには、葉質が固く、結球がよくしまった寒玉系の品種が適し、結球重1.5～2kgの大玉が求められる。出荷形態や出荷規格は、家計消費用の出荷に比べ簡素である（表1）。
- 2 加工・業務用に求められる特性を持つ適品種は、以下の通りである。  
夏播き栽培（表2、表3、図1）：「新藍」（7月下旬～8月上旬播種－11～12月上旬収穫）、「冬藍」（8月中下旬播種－12月中旬～1月収穫）、「彩音」（8月中下旬播種－2月収穫）、「TCA-400」（8月下旬播種－3月～4月上旬収穫）、「冬のぼり」（8月下旬播種－3月～4月上旬収穫）  
秋、春播き栽培（表4、図2）：「寒玉6号」（10月中旬播種－5月中下旬収穫）、「さつき女王」（10月中下旬播種－5月下旬収穫）、「YR天空」（10月中旬～11月下旬及び2月上中旬播種－6月収穫）
- 3 いずれの作型も株間は35cmとすることで、求められる1.5～2kg程度の結球重が得られ、多収となる。畝間60cmの場合の栽植株数は、10a当たり4,761株である（表5）。

### [留意事項]

- 1 施肥量は、主要農作物等施肥基準（千葉県、2009）に準じ、秋冬どり栽培で10a当たり窒素27kg、りん酸27kg、加里23kg、春どり栽培で同17kg、20kg、15kgを標準とし、土壌診断に基づいて調節する。
- 2 夏播き栽培は、多収の反面、販売単価はあまり高く設定されない。2～3月どりも収量は多いが、栽培期間が長く、前後作を含めた年間2作体系は難しい。秋播き栽培

の収量はやや多く、販売単価も業務用としてはやや高く設定される。所得も比較的多い上に、年内どり栽培との組み合わせで圃場利用率も高い（表6）。

- 3 露地栽培による4月中旬～5月中旬の安定出荷に適合する品種はみられないため、トンネル栽培を行う（試験研究成果普及情報「加工・業務用寒玉系キャベツの4、5月どりトンネル栽培法」）。

[普及対象地域] 県下全域のキャベツ生産者、実需者

[行政上の措置]

[普及状況] 君津地区、山武地区、海匝地区、安房地区、香取地区、印旛地区

[成果の概要]

表1 キャベツの用途別特性

用途	業務用（カット加工用、加熱加工用等）	家計消費用
求められる品質・規格	葉質が固く、結球がよくしまった寒玉系の品種 結球重1.5～2kgの大玉 ※求められる大きさ、葉色等は、取引先で異なる	1.3kg程度に揃ったもの 関東の市場では春系品種が好まれる
出荷形態	10～15kg段ボール箱もしくは通いコンテナ詰め	10kg段ボール
出荷規格	求められる大きさに達していれば、選別不要	通常は、2L、L、Mに選別

表2 夏播き早生、中生品種の特性、収穫期ごとの適性

供試品種	収穫の 早晩性	裂球の 早晩性	斉一性	結球形状	結球下半部 の緊度	黒腐病 発生程度	収穫期ごとの適性		
							11月	12月	1月
新藍	早	やや早	高	扁平	やや高	並	◎	◎	
YR藍宝	やや早	やや晩	やや高	やや甲高	やや低	少		○	○
あさしお	やや早	やや晩	やや高	やや甲高	やや低	並		○	○
冬藍	並	やや早	高	やや扁平	やや高	やや少		◎	◎

表3 夏播き中晩生、晩生品種の特性、収穫期ごとの適性

供試品種	収穫の 早晩性	裂球の 早晩性	斉一性	結球形状	耐寒性	結球 頭頂部の 寒害	しみ症	アプトン	収穫期ごとの適性			
									1月	2月	3月	4月 上旬
彩音	やや晩	やや晩	高	やや甲高	強	やや少	少	中	◎	◎		
冬の舞	晩	やや晩	並	やや甲高	強	やや少	少	中	○			
TCA-400	ごく晩	晩	やや高	やや甲高	強	やや少	やや少	少		◎	○	
冬のぼり	ごく晩	ごく晩	やや高	やや甲高	強	多	やや少	少			◎	○

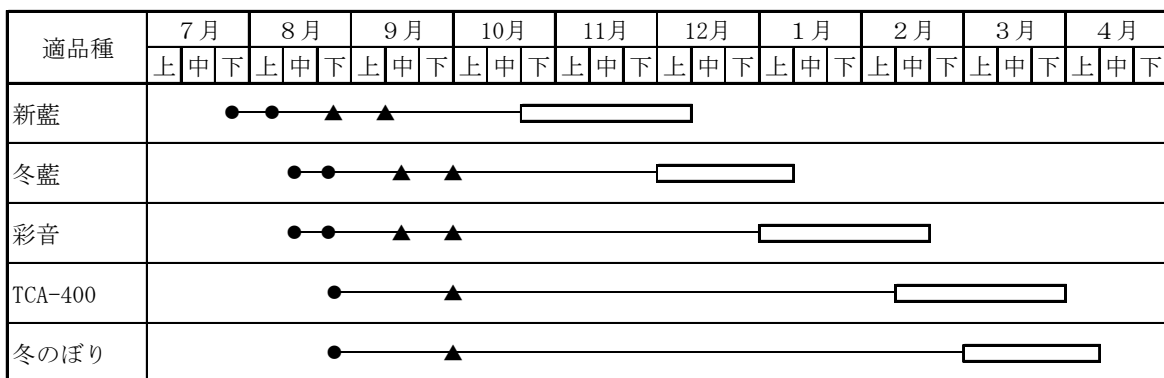


図1 加工・業務用に適する寒玉系キャベツの作型と品種（夏播き栽培）

注）凡例 ●：播種 ▲：定植 □：収穫

表4 秋播き品種の特性、収穫期ごとの適性

供試品種	収穫の 早晚性	裂球の 早晚性	斉一性	結球形状	結球下半部 の緊度	晩抽性	収穫期ごとの適性		
							5月中旬	5月下旬	6月
寒玉6号	早	やや早	高	扁平	やや高	強	○	◎	○
さつき王	早	早	高	やや甲高	低	やや強	○		
さつき女王	やや早	やや晩	高	やや甲高	やや低	やや強		○	◎
YR天空	並	晩	高	やや扁平	高	強			◎

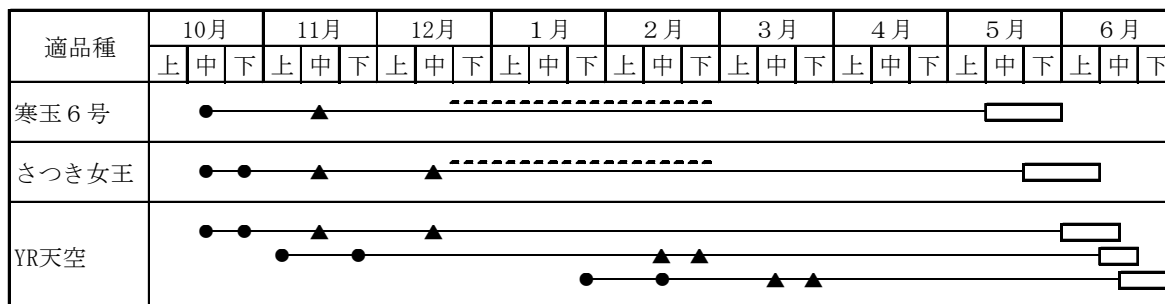


図2 加工・業務用に適する寒玉系キャベツの作型と品種（秋播き栽培、春播き栽培）

注）凡例 ●：播種 ▲：定植 □：収穫 ---：べたがけ

表5 株間の異なる寒玉系キャベツの結球重、可販収量

作型 (品種)	株間	結球重 (kg/株)	可販収量 (t/10a)
夏播き早生 (新藍)	45cm	1.62	6.0
	35cm	1.30	6.2
	25cm	0.79	0.0
夏播き晩生 (冬のぼり)	45cm	2.31	8.6
	35cm	2.03	9.6
	25cm	1.54	8.4
秋播き早生 (寒玉6号)	45cm	2.92	10.8
	35cm	2.48	11.8
	25cm	1.93	11.3

注) 可販収量は、結球重1kg未満の結球を除いた収量

表6 農業経営指標（10a当たり）

項目		夏播き 11月～ 1月どり	夏播き 2月～ 3月どり	秋播き 5月どり	トンネル 4月どり
収量(t/10a)		7.0	7.0	6.0	5.0
価格(円/kg)		47	50	53	58
粗収入(千円/10a)		329	350	318	290
経費合計(千円/10a)		256	274	239	209
生産 部分	種苗費	10	10	10	40
	肥料費	35	45	20	0
	被覆資材費	2	2	20	50
	薬剤費	30	30	20	7
	その他	32	32	32	12
出荷 部分	資材費	65	70	60	30
	運賃・手数料	70	73	65	59
	その他	12	12	12	11
労働時間(時間/10a)		60	70	60	57
10a当たり所得(千円)		73	76	79	81
1時間当たり所得(円)		1,217	1,086	1,317	1,421

注) 現地事例から推計した。

[発表及び関連文献]

- 1 平成21年度試験研究成果発表会（野菜部門1）
- 2 平成21年度試験研究成果普及情報「加工・業務用寒玉系キャベツの4、5月どりトンネル栽培法」
- 3 平成21年度公開講座「加工・業務用野菜の最前線」
- 4 千葉県農林水産技術会議技術指導資料「加工・業務用野菜生産に取り組むための手引き」

[その他]

戦略プロジェクト「輸入野菜のシェアを奪還し、千産千消・千産全消を支援する業務用野菜の開発」（平成19～20年度）